

# ながの金融広報だより

## 第1回・第2回金融経済講演会のご案内

長野県金融広報委員会では、本年度第1回、第2回金融経済講演会を次の要領により長野市にて開催します。大勢の皆さんのが参加をお待ちしています。

参加無料  
<参加証必要>

### 第1回講演会

日 時 令和元年 7月 29日(月) 18:30~20:00

会 場 ホテルメトロポリタン長野

講 師 弁護士 住田 裕子氏

【プロフィール】

兵庫県加古川市生まれ。東京大学法学校卒業。1979年東京地検検事に任官し、以後、各地の地検検事として転勤を重ね、1987年に女性初の法務省民事局付検事として民法・国際私法等の改正を担当。1990年に全省庁女性初の法務大臣秘書官に就任。1996年弁護士登録し、さまざまな公職や獨協大学特任教授などを歴任。現在、NPO長寿安心会の代表として長寿社会の安全部安心な社会づくりのために奮闘中。「住田裕子の老後安心相談所」などの著書・論文多数。



演 題 「気をつけよう!金融トラブル  
~騙されないで!うまい話にご用心~」

募集期限 令和元年7月19日(金)

定 員 120名

(先着順。定員に達し次第締め切ります)

### 第2回講演会

日 時 令和元年 9月 2日(月) 18:30~20:00

会 場 ホテルメトロポリタン長野

講 師 株式会社日本総合研究所理事長 翁 百合氏

【プロフィール】

東京生まれ。1984年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了。同年日本銀行入行。1992年日本総合研究所調査部副研究員、その後、主任研究員、主席研究員、理事を経て、2014年副理事長、2018年から理事長。

2014年9月より慶應義塾大学特別招聘教授、現在、金融審議会委員、産業構造審議会委員などを兼任。「不安定化する国際金融システム」「国民視点の医療改革」などの著書・論文多数。



演 題 「日本、世界の経済見通し」

募集期限 令和元年8月23日(金)

定 員 120名

(先着順。定員に達し次第締め切ります)

応募方法 ①参加希望日(「7/29」または「9/2」)、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号(平日昼間に連絡可能な先)を明記のうえ、はがき、FAX、Eメールまたはホームページ(スマートフォンからもアクセス可能)からお申込みください。

宛て先 〒380-0936 長野市岡田178-8 日本銀行長野事務所内 長野県金融広報委員会「講演会K」係  
FAX:026-223-0128 E-mail:info@nagano-money.com (件名:講演会K)

※お送り頂いた個人情報は、当講演会関係事務以外に使用することはありません。

## 活動方針に基づき元年度も金融広報活動を推進します

5月14日、長野市において長野県金融広報委員会委員総会を開催し、令和元年度の活動方針を決定しました。

昨年度に引き続き「広めようお金の知識~生きる力、自立する力を高めるために」を活動のテーマとし、金融経済学習への支援や金融経済情報の提供を通じて、皆さまのお役に立つよう金融広報活動に取組んで参ります。よろしくお願ひいたします。

## 県内4大学で金融リテラシー講座を開講しています

今年度上期に、当委員会と日本銀行ほか関係団体が連携し、県内4つの大学(信州大学、長野県立大学、公立長野大学、長野保健医療大学)において、「金融リテラシー講座」を開講しています。

## 学校における金融教育の支援に積極的に取組んでいます

長野県金融広報委員会では、新しい時代を生きるうえで必要な資質・能力を確実に育むことを目指し、幼児、児童、生徒の発達段階に応じた「金融教育」の研究・実践を支援するために、毎年、「金融教育研究校」を委嘱しています。今年度は、新たに6校が研究校となっています。

### 今年度の研究校

#### 高等学校

長野県小諸商業高等学校

長野県赤穂高等学校

#### 中学校

佐久市立東中学校

王滝村立王滝中学校

#### 小学校

駒ヶ根市立赤穂南小学校

坂城町立坂城小学校

須坂市立仁礼小学校



### コラム 信州の風

## 時間資産の活用を再考する

長野県金融広報委員会 事務局長(日本銀行長野事務所長) 松尾 隆敏

この4月から、県内の幾つかの大学で、1・2年生を対象に金融リテラシーを教えている。わが国の将来を担う若者達が、親世代とは異なる社会・経済環境の下で、夢や希望を実現し豊かな人生を送る上で必要となる“金融・経済の基礎知識”と“金融取引における判断力”を身に付けることに主眼を置いたものだ。決して裕福になる方法ではなく、国家財政の厳しさが増す中にあって、若い世代には実感がわき難い“老後”も視野に入れた金融資産の形成等について話をしている。

人生の時間軸の中で、学生時代は、やはり若さと時間が最大の強みではないだろうか。しかし、それはあっという間に過ぎ去ってしまう。いずれ社会に出ていくことを踏まえると、日々楽しく時間を消費するだけではなく、時間を限りある貴重な資産と位置付けて、将来、社会に提供できる付加価値を創造する力に変えていくことが大切だと思う。時間の消費ではなく投資だ。学問のみならずクラブ活動やアルバイトなど様々

な経験をし、また様々な人と接することを通じて、コミュニケーション力を高め、付加価値創造力を蓄えてもらいたい。

時間資産の有効活用の重要性は、学生世代に限った話ではない。人に寿命がある以上、むしろ筆者のような中高年以上の世代においては、時間資産の希少性はより高まる筋合いにある。筆者は、大学で講義を行う機会を得たことを契機に、自分自身の時間資産の使い方について再考するようになった。老後を視野に入れたお金の使い方、金融資産の必要性は意識してきたが、時間資産の使い方にはやや無頓着になっている姿に気付かされた。反省しきりである。今後の人生でやりたいこと、なりたい自分を明確にし、計画的に時間を使わなければとの思いを新たにしている。最近、リカレント教育の意義が各方面から提唱されている。今、学校で再教育を受ける余裕はないが、手近なところで始められることはたくさんある。まずは中学から学んだ英語の再学習に取り組もうと考えている。

## 長野県金融広報委員会

【事務局】 〒380-0936 長野市岡田178-8(日本銀行長野事務所内)

TEL:026-227-1296 FAX:026-223-0128

E-mail:info@nagano-money.com URL:<https://nagano-money.com>